

# 第1学年 学年通信

第5号

H24.5.18

## 『スイッチ』

どんな願いでも叶えられるのならあなたは何を願うだろうか？

私は間違いなく「高校一年生からもう一度やり直したい」と答える。このようなことを書くと、高校時代に一体何があったのかと思われるかもしれないが、特に苦しいことや悲しいことがあったわけではない。むしろ熱中できる部活動があり、心許せる友達もいて楽しい日々を過ごしていた。一方で、授業や勉強についてはほとんど思い出がない。いいことだけでなく悪いことを含めてもだ。

当時の私は「あの先生の授業わからんよね〜」「教科担当が〇〇先生だったら成績上がるのに」「こんな勉強しなくても困らんし」と言いながら、つまらない（と自分で決めつけ、初めから素直に聞く耳を持っていなかった）授業が終わるのをただ待っている、スイッチOFFの状態だった。

そんな高校時代を過ごした私が、社会人になって以来ずっと思っていることがある。それは、もう一度“高校生として”勉強をしたいということだ。高校3年間、各分野の専門家から体系立てて学ぶことができ、切磋琢磨する仲間がいて、十分な時間がある…今思うと贅沢な環境にあったにもかかわらず、私は言い訳ばかりして逃げていた。どこでもドアがあるのなら、16歳の私のところに行って喝を入れてやりたい。

勉強嫌いだった自分がこう思うのは、経験や年齢を重ねてきたからかもしれない。子どもを生き育て、親として、社会人としてこれからの生き方を考えるとなおさらその思いは強くなる。もちろん大人になった今でも学ぶ方法はいくらかもある。学び直してみると、当時は苦痛でしかなかったものが今は面白いと感じることもしばしばある。しかし、16～18歳のあの時にする学び（環境を含めた）とそれを基にしたその後の人生は決して手に入れることはできない。だからこそ、今のあなた方の置かれている状況を羨ましく思うし、側で見ていて歯がゆくも思うのだ。

高校1年生の5月。今からスイッチをONにしても決して遅くはない。

## 『心のスイッチ』 東井義雄

人間の目はふしぎな目 見ようという心がなかったら 見えても見えない  
人間の耳はふしぎな耳 聞こうという心がなかったら 聞いても聞けない  
同じように人の話を聞いていても ちっとも聞いていない人がいる  
ほんとうにそうだと 腹の底まで聞く人もいる  
頭もそうだ はじめからよい頭 わるい頭の区別があるのではないようだ  
「よし やるぞ!」と心のスイッチがはいると 頭もすばらしいはたらきをしはじめる  
心のスイッチが 人間を つまらなくもし すばらしくもしていく  
電灯のスイッチが 家の中を 明るくもし 暗くもするように

1年2組 副担任 O・Y

## 週行事予定表 (5/18~6/5)

月	日	曜	行事予定	課外	備考
5	18	金	月曜校時	A	7:25着席 課外も月曜
	19	土			
	20	日			
	21	月	部活動活性化週間(～25)	×	8:20着席
	22	火	キャリアアップ キャラバン(午前)	×	8:20着席
	23	水		×	8:20着席
	24	木	生徒会役員選挙立会演説会・投票	×	8:20着席
	25	金		×	8:20着席
	26	土	高校総体 第1日 総合開会式 特編授業(1～3限)	×	8:20着席
	27	日	高校総体 第2日		
	28	月	高校総体 第3日 特編授業(1～4限)	×	8:20着席
	29	火	高校総体 第4日 特編授業(1～5限)	×	8:20着席
	30	水	代休日		
	31	木	朝課外再開 全校集会(生徒会役員任命式) 水泳前健康調査 ステア'イヤー'提出日(担任へ)	B	7:25着席
6	1	金		B	7:25着席
	2	土	土曜講座②	×	8:10着席
	3	日		×	
	4	月	教育相談週間(～8) 第1回読書推進期間(～15)	C	7:25着席
	5	火		C	7:25着席